井草中CS(コミュニティ・スクール)便り 第 14 号

2013年2月27日発行　CS広報部会

21 項目中 15 項目で上昇！

－CSアンケートの結果がまとまりました－

CS会長　坂野　慎二

毎年11月に実施しているCSアンケートの結果がまとまりました。今年度の質問は27項目ですが、このうち 6 項目は質問が変わりました。残り 21 項目のうち、数値が良くなったのが 15 項目、数値が悪くなったのが6項目です。全体的には昨年度よりも学校生活満足度が上昇しているといえるでしょう。このことは、「9学校生活が楽しい」が、昨年度よりも全体で3.5ポイント上昇していることからも裏付けられます。井草中学校の活動にご尽力いただいた保護者の皆様、地域の方々、教職員の皆さんのおかげです。ありがとうございます。

図1「14　給食は、ほぼ残さず食べている」

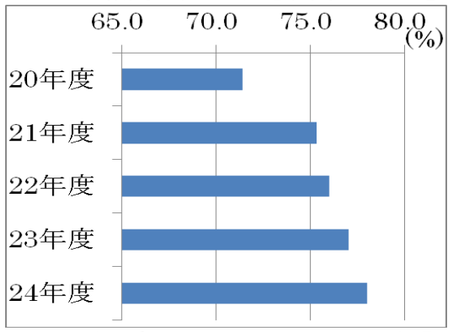
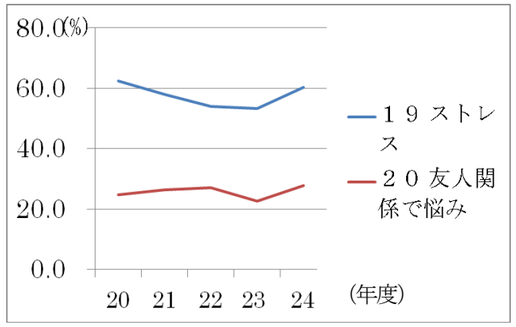


図2「学校ストレスと友人関係で悩み」



数値が 5 ポイント以上良くなったのが、「11 進路情報の収集（平成 23 年度：54.6%→平成 24 年度：60.9%）」、「12 安全な生活（83.8%→89.9%）」、「15 食事のバランス（73.2%→80.5%）」、の 3 項目です。食育に関連する「14 給食を残さない」も毎年数値が上昇しています（図1）。この数年続けてきた食育の成果が現れているといえるでしょう。また、給食の献立や調理に工夫してくださっている島田先生や皆様にも感謝です。

学年別に観てみましょう。1年生では、「1やってはいけないことを自分を抑えられる」が過去5年間の1年生で最高の数値になっています（90.8%、これまでは 70～80%代）。2年生では、「11 中学校卒業後の進路について情報を集めている」が過去5年間で最高の数値です（59.8%、これまでは 40%後半から 50%代前半）。3年生では、「21 先生との関係で悩みがある（10.5%、これまでは 13.6%から 21.6%）」「23 学校に生きたくないと思うことがある（24.6%、これまでは 20%代後半から 30%代）」の数値が低く、学校に馴染んでいることがうかがえます。

逆に数値が全体で 5 ポイント以上悪くなったのが、「19 学校生活でストレスを感じる（53.2%→60.2%）」、「20 友人関係での悩み（22.7%→27.7%）」、「24 地域を気に入っている（81.1%→75.3%）」の 3 項目です。ただし過去5年間で特別に高いという訳ではありません（図2参照）。思春期における友人関係の難しさを、教職員や保護者、地域の人たちの力を借りながら、生徒が自分達の努力で乗り越えていってもらいたいものです。

井草フェスティバルが行われました！

平成 24 年 11 月 23 日、井草フェスティバルが開催されました。井草フェスティバルは、生徒有志、教員、CS 委員及び学校支援本部委員で実行委員会を構成して、毎年この時期に開催しています。近隣の小学生、地域の方々スタッフ等 330 名以上の参加がありました。中学生と小学生、そして地域の方々とふれあう充実したフェスティバルとなりました。

（参加した生徒の感想から）・また今回やった人たちと何かやってみたい。自分たちも客として他のブースをまわりたかった。・地域の方々へのあいさつがしっかりできました。買い出しも計画通りできました。・次はもっと時間の使い方に着目していきたいと思います。また関わりたいと思っています。・地域の方に「～の方が枝豆が安いよ！」などアドバイスをいただいたりして協力できた。前よりは周りをみて行動ができるようになったかもと思います！・当日の準備が的確にできた。協力してがんばったから。お母さん方からもアドバイスをいただいたから。協力することと、礼儀が身に着いたと思います。

＜リレーエッセイ＞　「井草中との 10 年間の思い出」

学校支援本部会長　辻田　浩和さん

当時中学生だった息子、娘はもう大学生です。私が井草中の校舎にはじめて踏み入ったのは平成 15 年。当時の旧校舎は、私が中学生だった昭和 50 年代の中学校のイメージそのもので、井草中出身でない私も、なんだか懐かしい感じで学校に行ったことを覚えています。最初に学校に行った目的は、I 組が新しく開校するということで、PTA室を引っ越すから手伝いに来い（終わった後、打上げあり！）という、PTA便りに誘われて行ったのです・・・。それから 10 年、気がついたらPTA役員を経て、現在は学校支援本部会長という身に余る役職をいただき、子供が卒業してからも、こんなに長い間、井草中にお世話になるとは思っても見ませんでした。

校舎も、先生方も様変わりして、すっかり昔の雰囲気とは違う学校になったなと、つくづく思います。それでも当時発足したばかりの「おやじの会」で知り合った当時のお父さん方の中には、地方都市にたまたま出張に行った時だけお会いできる方もいて「単身赴任で寂しかった。」と言っては嬉しそうに迎えてくれる、貴重な友人たちです。一介のサラリーマンの私に、色々な経験と貴重な友人を与えてくれた井草中に感謝しています。

最近仕事の忙しさから、井草中に足を運ぶ機会が少なくなってしまっているのですが、たまに学校に行けば、野球、テニス、音楽バンドや地域活動などで活躍している素晴らしい友人はもちろん、大好きな飲み会だけが目当てという（私のような）方など、素敵なお父さんたちに会うことができます。そんな多くの方々が影日向にフォローしてくれている、井草中はそんな素敵な男性に会える、中学校にしては珍しいとても素晴しい場所だと思っています。

ただ最近は、「子供もついに卒業しちゃったね。」というお父さんが多くなってきていて、最近入学された現役生徒さんのお父さん方とも、またお知り合いになれるといいな、と思いつつ、なかなか学校に行く時間が作れない、だめな支援本部会長です。どこかで、皆さんとゆっくりグラスを傾けつつお話できる機会があると嬉しいですね。（日常の支援本部運営は結局、支援本部の強力な女性陣に任せっぱなしです・・・・ゴメンナサイ.）

CS委員の2年間を振り返って

井草中は平成19年度に学校運営協議会を設置する地域運営学校となりました。委員の任期は2年で、現在は3期目の任期が終わります。1期目から公募委員をしてきて皆さんは、今回で任期満了となります。そこで、すべての委員にこの2年間の感想を寄せてもらいました。

石黒康さん（３期目、任期満了）
CS委員を6年間務めて参りました。その中で変わらず感じてきたことは、先生方がいかに忙しいかということ、そしてそれにもかかわらず、子どもたちが様々な経験を積むことができるよう常に工夫し努力されているということでした。卒業生の様子などを拝見すると、その経験が高校での学びに直結していることを実感します。任期を終えますが、今後も地域の一員として、子どもたちだけでなく先生方の応援団でいたいと思います。

植松照美さん（1期目、推薦）
CS委員としての職務と同時に支援本部委員のコーディネーターとして、井草中の教育に関わる学校、PTA、地域の信頼関係の構築を考えながらの２年間でした。学習指導要領も年々変化しています。生徒を取り囲む大人たちがしっかりとした絆を持ち、成長を促し見守る事が大切だと思います。来年度以降もこのことを念頭において活動してまいります。
保護者の皆さま、地域の皆さまご協力のほどよろしくお願いいたします。

牛田伸一さん（2期目、学識）
CS 委員の役割には、会議に参加し遠くから学校を眺めるばかりでなく、できるだけ日常の（イベントの時ばかりでなく）子どもたちや先生方と直接にかかわることが大事だと思っています。この重要さを分かっていながらも、今期も果たせずじまいだった点は、大いに反省すべきと考えています。そういう直のかかわりをしてきた多くの委員が、今期で任期を終え、CS から（制度的には）離れます。感謝の気持ちとともに、その試みの大切さを忘れないでいたいと思います。

江畑洋子さん（3期目、任期満了）
今年の3月でCSの任期が終わります。6年間で感じたことを書きたいと思います。最初の2年間は全てが学びでした。3年目は地域としてどれだけ学校に関われるか試行錯誤でした。4年目にコミ担制度ができ子供達や保護者の方々との距離がとても近くなり、支援本部の役割とCSの役割が子供の教育にとても重要な役割を占めていることを痛感しました。6年間で校長先生も変わり教員の方々もほとんど変わりました。地域運営学校として一番考えなければいけないことは、校長が変わっても教員が変わっても、子供たちに安定した教育が出来ることをお手伝いすることではないでしょうか。

小口和子さん（3期目、任期満了）
CS委員任期が今年度で終了します。地域運営学校制度は、従来型の敷居の高かった教育現場を大きく変化させたのではないでしょうか？委員の役割として保護者や地域の中での“うわさ”を学校に、学校で、起きていることや“ウワサ”は正しい情報として地域に伝える。このパイプ役が詰まることなく流れることが大切です。型式や組織があってもそれをどう機能させ柔軟に考えていくかが、次代を担う子ども達へ大人が出来る役割ではないかと6年間で感じました。

熊野隆喜さん（3期目、学識）
3期6年の間常に感じていたことがあります。井草地域の皆さん（CS委員・支援本部役員）の井草中に対する思いと生徒達への愛情の深さです。それと寺田前校長の強い巧みなリーダーシップによって井草方式のCSが生まれ、文部科学大臣賞の受賞にまで至ったことは素晴らしいことでした。しかし、それを継続することは大変な努力を要します。新しい人材の掘り起こし、教職員の皆さんとの協力など心を一つにしてやっていきましょう。

坂野慎二さん（3期目、学識）
昨年度は年度途中で寺田前校長から池田現校長への交替がありました。今年度は新校舎での学校生活となりました。また、先生方の顔ぶれも変わり、CSができた頃のことを知っている先生も少数になりました。
中学校は今年度から新教育課程となり、井草中学校の先生方も忙しくなりました。新教育課程、新校舎、新たな教職員の中で、新たなCSの在り方を模索する1年であったように思います。次年度はCS委員の顔ぶれも変わることと思います。新しい井草中に期待しています。

古谷充廣さん（3期目、推薦）
入学式から始まり運動会、合唱コンクール、井草フェスティバルなど卒業式まで色々な学校行事に関わりその都度多くの生徒と話す機会が有りました。しかし先生方とはなかなか話す機会がなく月一回のコミュニティの会合でも、校長先生、副校長先生と一部の先生としかお話をする機会がないので、もっと多くの先生方とお話しをする機会がほしいと思います。
プレハブ校舎から新校舎に移り生徒たちはのびのびと学校生活を送っています。ただしまだ校庭の整備が整っていないため運動会、クラブ活動ができないので他の施設を借りてでは大変です。早く校庭が使用できるといいなと思っています。
毎年生徒数が増え学校経営も大変になっていると思います。年度途中で校長先生の変更があり、また二名体制だった副校長先生が一名になってしまいました。色々なフォーラムに井草中のことを発表して全国的に知られるようになりました。今後ともがんばりましょう。2年間有りがとうございました。

鈴木雅也さん（1期目、推薦）
プレハブ校舎という学習環境の中での運営委員勉強の年であった１年目、I 組のコミ担（井草中独自の学級サポーター制度）として特別支援学級の生徒たちと関わりをもてたことで、通常学級ではつい見落としがちな大切なものを見出す事ができました。2 年目、校長の交代や新校舎への引越し、教育課程の変更や新教育ビジョンの策定など、多様な変化の中、改めて「CSとは何ぞや？」を考えさせられる１年でもありました。

矢嶋智和さん（1期目、公募）
井草中は、学校支援本部やCS、ゲストティーチャー等で井草中を応援していただいている多くの保護者や保護者卒業生、地域の方々に守られています。その皆さんに共通するのは「すべては生徒のために」との思いではないかと思います。その尊き熱い思いはこれからも井草中を応援する人々に綿々と伝えられていくと思います。